

平成 22 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2007～2010

課題番号：19320012

研究課題名 (和文) アフガニスタン出土仏教写本の研究

研究課題名 (英文) Study of Buddhist Manuscripts from Afghanistan

研究代表者

松田 和信 (Matsuda Kazunobu) 佛教大学・文学部・教授

研究者番号：90268128

研究代表者の専門分野：仏教学

科研費の分科・細目：哲学、印度哲学・仏教学

キーワード：(1) 仏教 (2) 写本 (3) アフガニスタン (4) バーミヤーン (5) ガンダーラ

1. 研究計画の概要

1990 年代初頭にアフガニスタンのバーミヤーン渓谷北部に位置するザルガラーン地区の石窟寺院跡から発見されて、ノルウェーのスコイエン・コレクションや我が国の平山郁夫コレクション等に引き取られた数千点にもものぼる大量の仏教写本断簡類について、海外の研究協力者とともに解読と内容の比定を行い、最終的にその研究成果として、写本断簡類から回収されるサンスクリットおよびガンダーラ語テキストと翻訳、および内容の分析結果の出版を目指すものである。

2. 研究の進捗状況

- (1) スコイエン・コレクションに含まれる数千点の写本断簡類については、ほぼその全体の一次的なローマ字転写を終え、パソコンに入力した。
- (2) カラーシュティー文字によるガンダーラ語写本断簡類の中に複数の大乘経典断簡が発見され、それらについては他資料との比較検討を行った。
- (3) 平山郁夫および米アダムスコレクションに含まれる梵文長阿含経写本については、第 3 篇「戒蘊品」を構成する諸経典についてローマ字転写を行い、パーリ語資料との比較検討を行った。

3. 現在までの達成度

- ② おおむね順調に進展している。

(理由)

数千点にもおよぶ写本断簡のローマ字転写が順調に行われ、また欧米の大学に属する複数の海外研究協力者を招いた集中的な研究会も毎年行われ、当初予定していた研究終了

後の成果出版に向けて具体的な予定が立てられていることによる。

4. 今後の研究の推進方策

ローマ字転写に基づく写本断簡の同定、他資料との比較検討等の研究を継続して行うとともに、4 年間の研究期間終了後に出版を予定している『スコイエン・コレクションの仏教写本』第 4 巻 (ノルウェー・オスロより英文で刊行) に向けた準備を行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 6 件)

- ① 松田和信 「アフガニスタンの仏教写本と大乘仏教」東方学会第 59 回全国会員総会、2009 年 11 月 6 日、東京・日本教育会館
- ② 松田和信 「ガンダーラ語仏教写本を巡るこの一年間の新知見」日本印度学仏教学会第 60 回学術大会、2009 年 9 月 9 日、大谷大学
- ③ 松田和信 「Japanese Collection of Buddhist Manuscript Fragments from Afghanistan and Pakistan」Indic Buddhist manuscripts: the State of the Field, 2009 年 6 月 17 日、米スタンフォード大学

[図書] (計 1 件)

岩井俊平、加藤雅人、坂本雅美、廣野幸、降幡純子、松田和信、東京文化財研究所 (刊) 『バーミヤーン仏教石窟出土権皮仏典の保存修復』2008 年、7-10 頁。

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

なし